

砂防の仕事ってどんなこと？

樽前山が噴火し泥流が発生すると、苫小牧市一帯に大きな被害を及ぼすことが予想されています。さらに、本道の生活や産業を支える鉄道、高速道路、国道、空港、港湾などにもその被害が及び、本道のみならず全国の社会機能に与える影響も甚大なものになるおそれがあります。被害を軽減する上で、噴火が起きる前の対策が重要であるため、平成6年度に樽前山を国直轄火山砂防事業とし、着手しました。特に大量の泥流が流れ、大きな被害の発生が想定される溪流に対して、砂防設備の整備を進めています。

また、砂防設備の整備とともに、発災時に「被害を出来る限り軽減」するため、緊急時に実施する対策（ハード対策）の検討や監視設備の整備（ソフト対策）等、火山噴火緊急減災対策を進めています。



樽前山



監視設備



赤外線監視カメラ

樽前山火山対策防災拠点



工事の予定



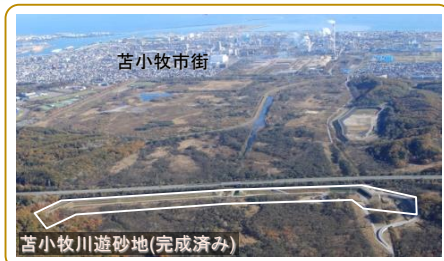
活火山である樽前山の近くには、北海道の海と空の玄関としての苫小牧港や新千歳空港が位置しています。



覚生川3号砂防堰堤(令和5年1月完成)



熊の沢川3号砂防堰堤(整備中)



苫小牧川遊砂地(完成済み)

